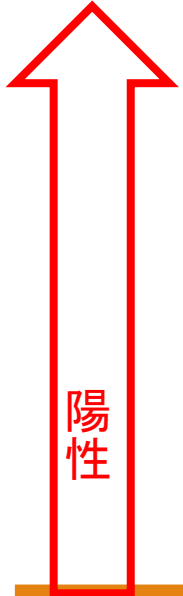


検査の説明

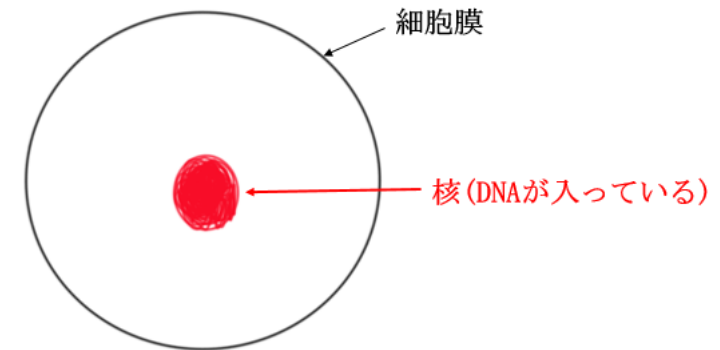
抗核抗体



- ・自分自身の細胞を攻撃する成分があることを表します

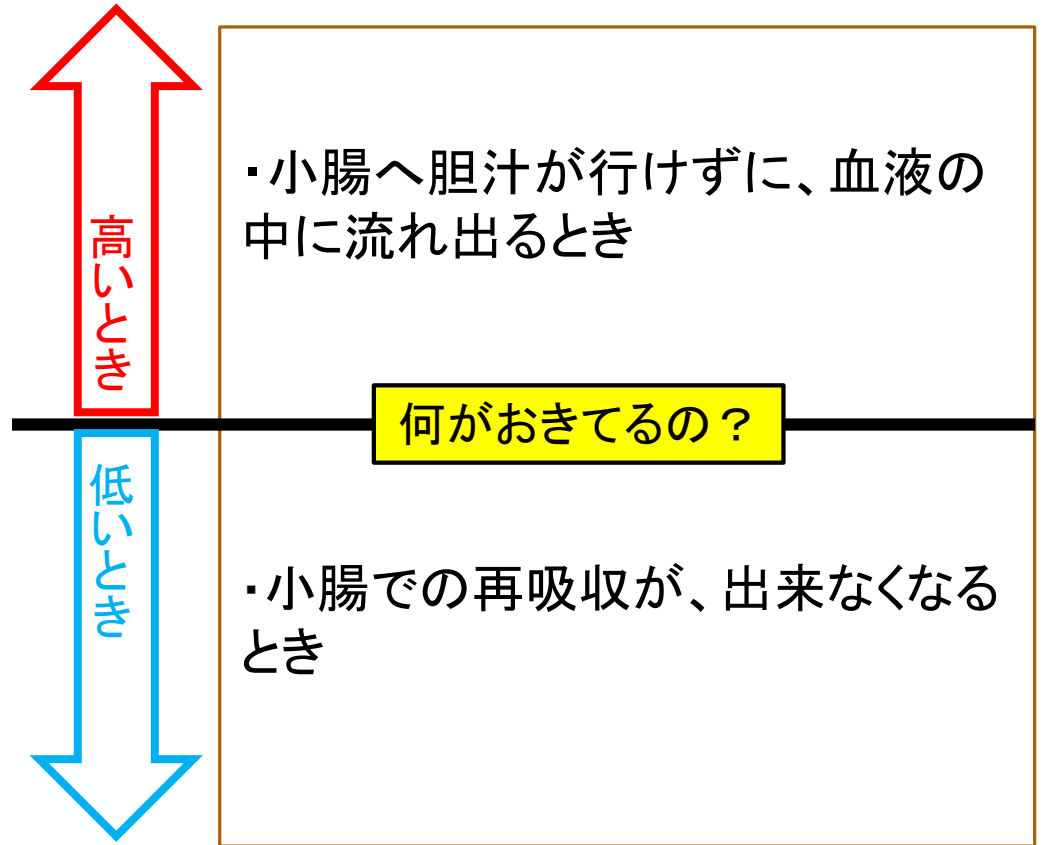
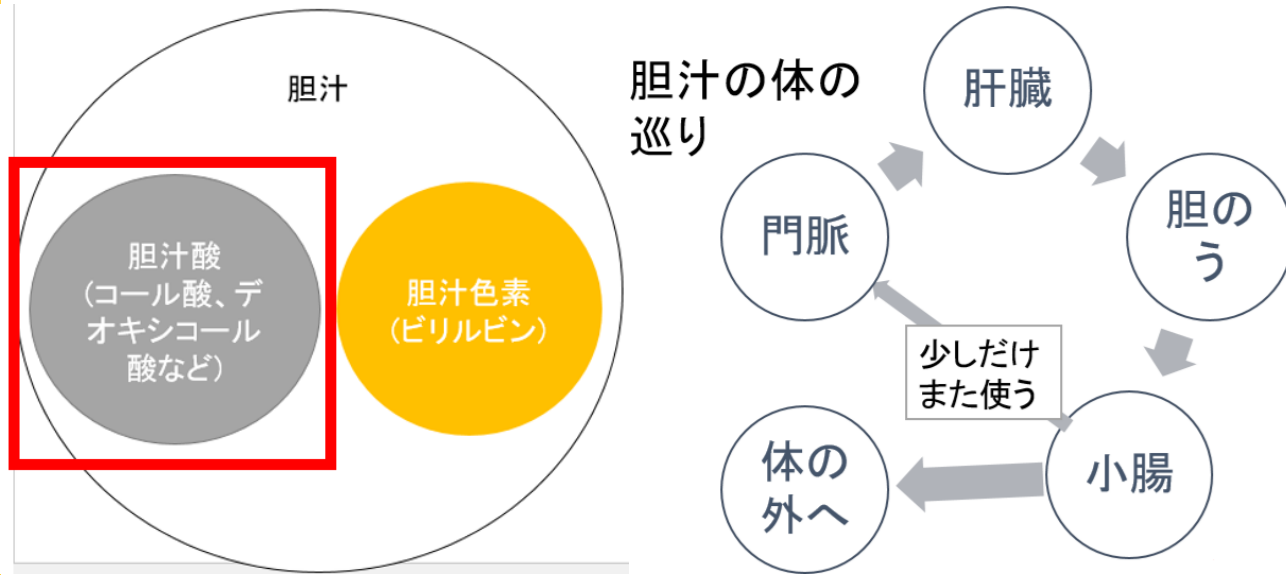
- ・健常者でも陽性になることがあります
- ・拒絶反応は、この値だけでは判断されません

- ・細胞核の成分(DNAなど)を攻撃する



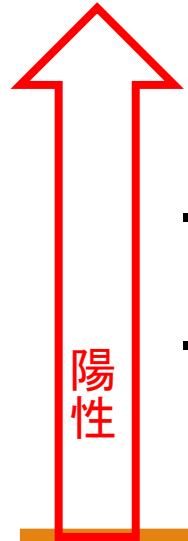
総胆汁酸

肝臓でコレステロールから作られ、
脂肪の分解と吸収を行います

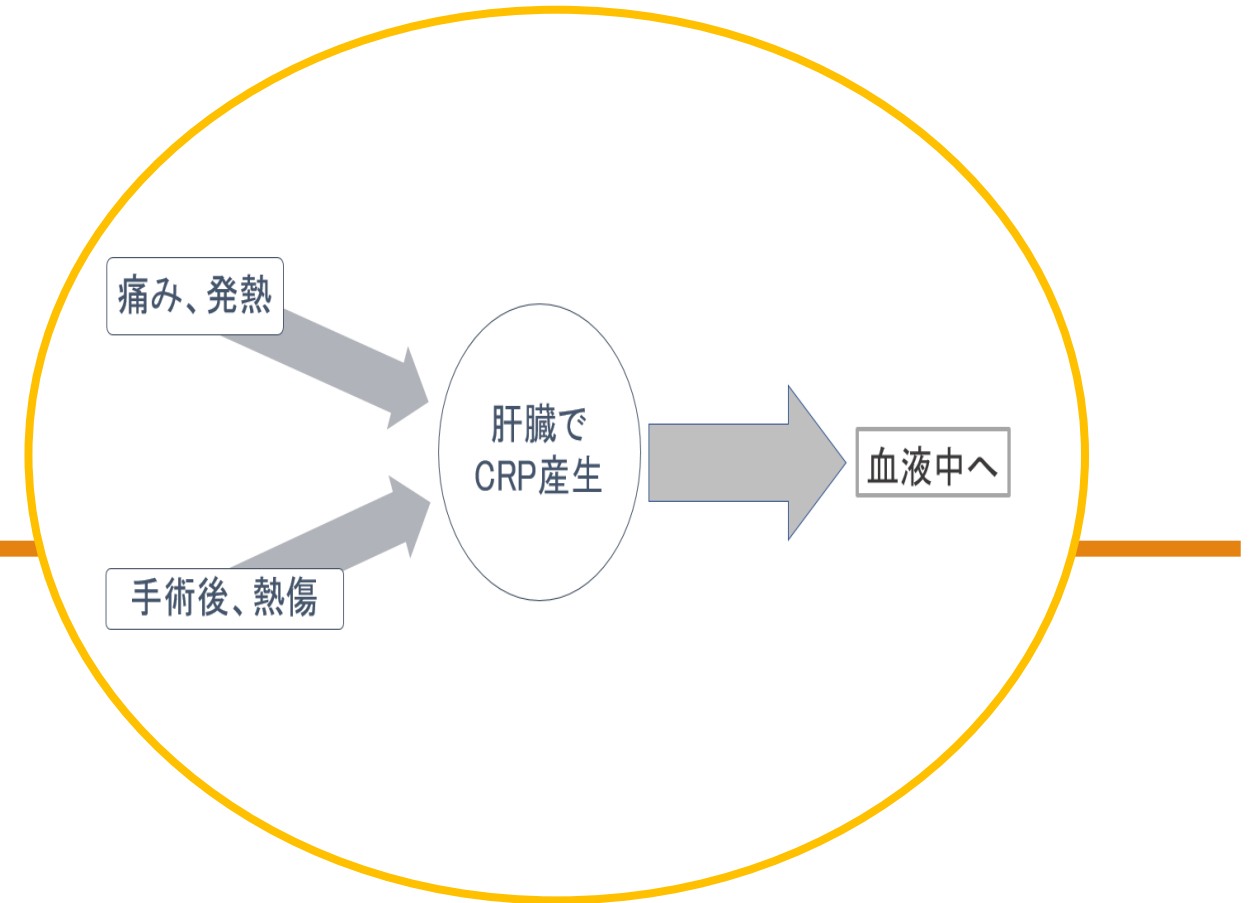


CRP

(C反応性タンパク質)



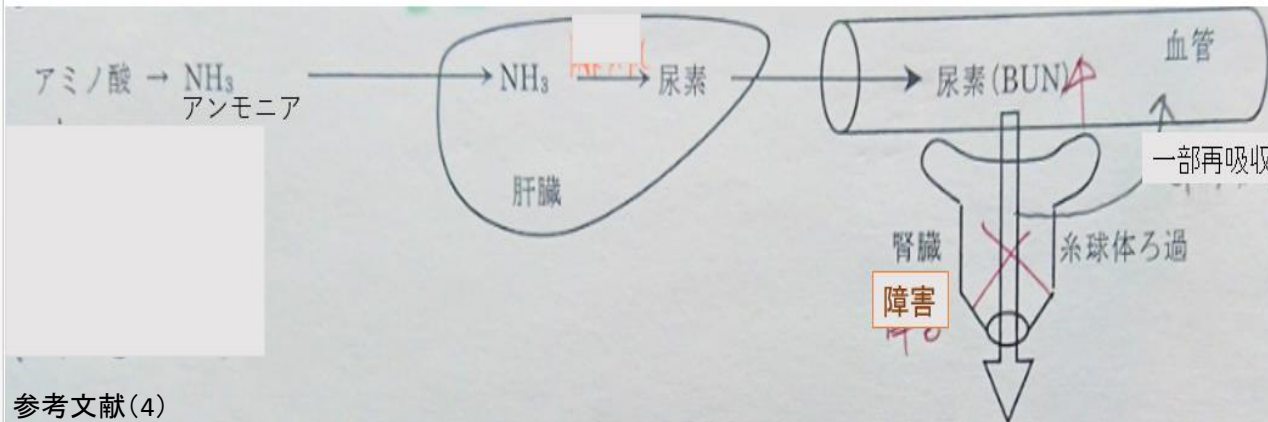
- ・普段は、極微量に血中に存在します
- ・痛みや発熱、手術後、熱傷等で増加します



BUN

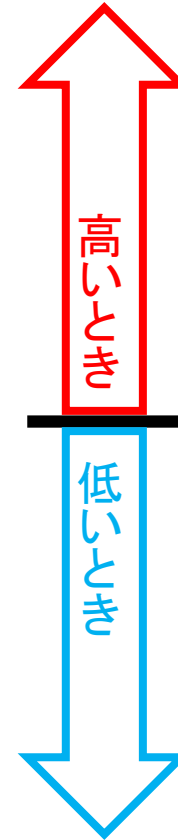
(尿素窒素)

血液中にある尿素中の窒素成分



【糸球体ろ過機能】

腎臓から身体にいないものを外に出す力



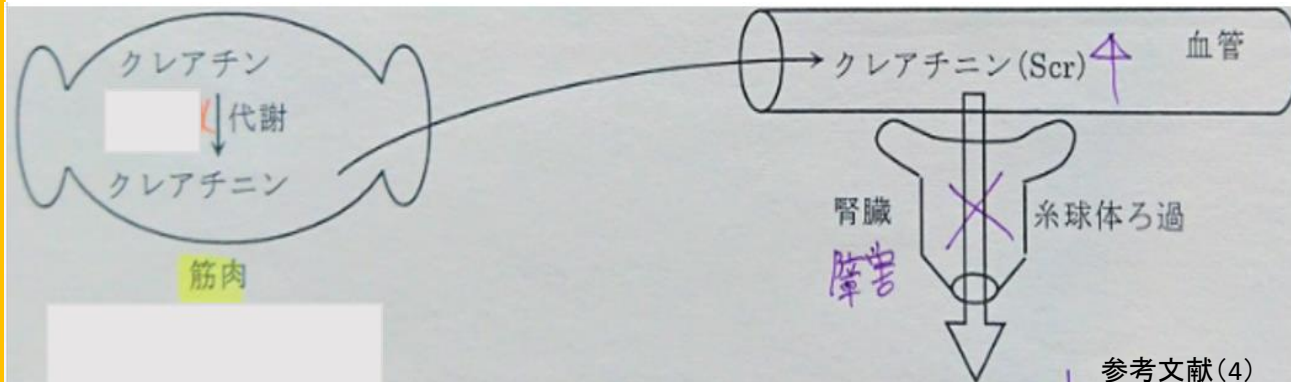
- ・タンパク質を多く取りすぎたとき
- ・腎臓に問題が起きて身体の外に出なかったとき

何がおきてるの？

- ・タンパク質を取る量がすくないとき
- ・肝臓で、BUNが作られないとき

クレアチニン

- ・主に、筋肉で作られています
- ・腎臓から身体の外に出るが、もう一度身体に戻らないので糸球体ろ過機能をそのまま表しています



【クレアチン】
肝臓などで作られて筋肉に運ばれる



- ・腎臓に問題があり、身体の外に出かったとき
- ・運動をしたとき

何がおきてるの？

- ・筋肉量が元々少ないとき
- ・肝臓でクレアチンが作られないとき

eGFR

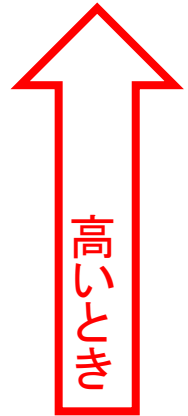
低いとき

- ・腎臓に身体のいらぬ物を出す力がどれくらいあるかを示します
- ・この値が低いほど、腎臓の機能が低下しています

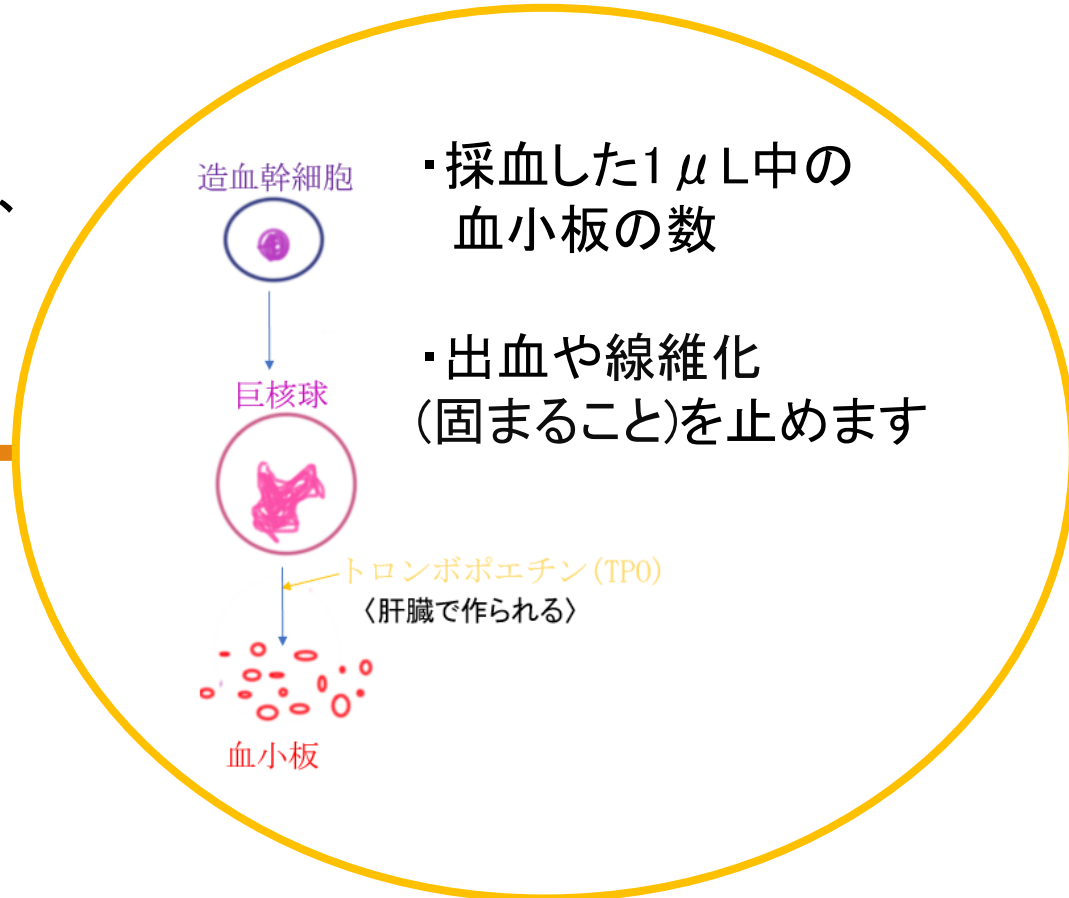
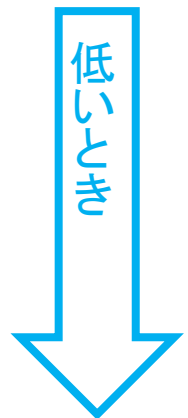
GFR区分 (mL/分 /1.73 m ²)	G1	正常または高値	≥90
	G2	正常または軽度低下	60~89
	G3a	軽度~中等度低下	45~59
	G3b	中等度~高度低下	30~44
	G4	高度低下	15~29
	G5	末期腎不全(ESKD)	<15

引用文献:(5)

血小板数



・出血を抑えたり、
線維化を起こす事で、
多く作られるように、
なるとき



・採血した1 μ L中の
血小板の数

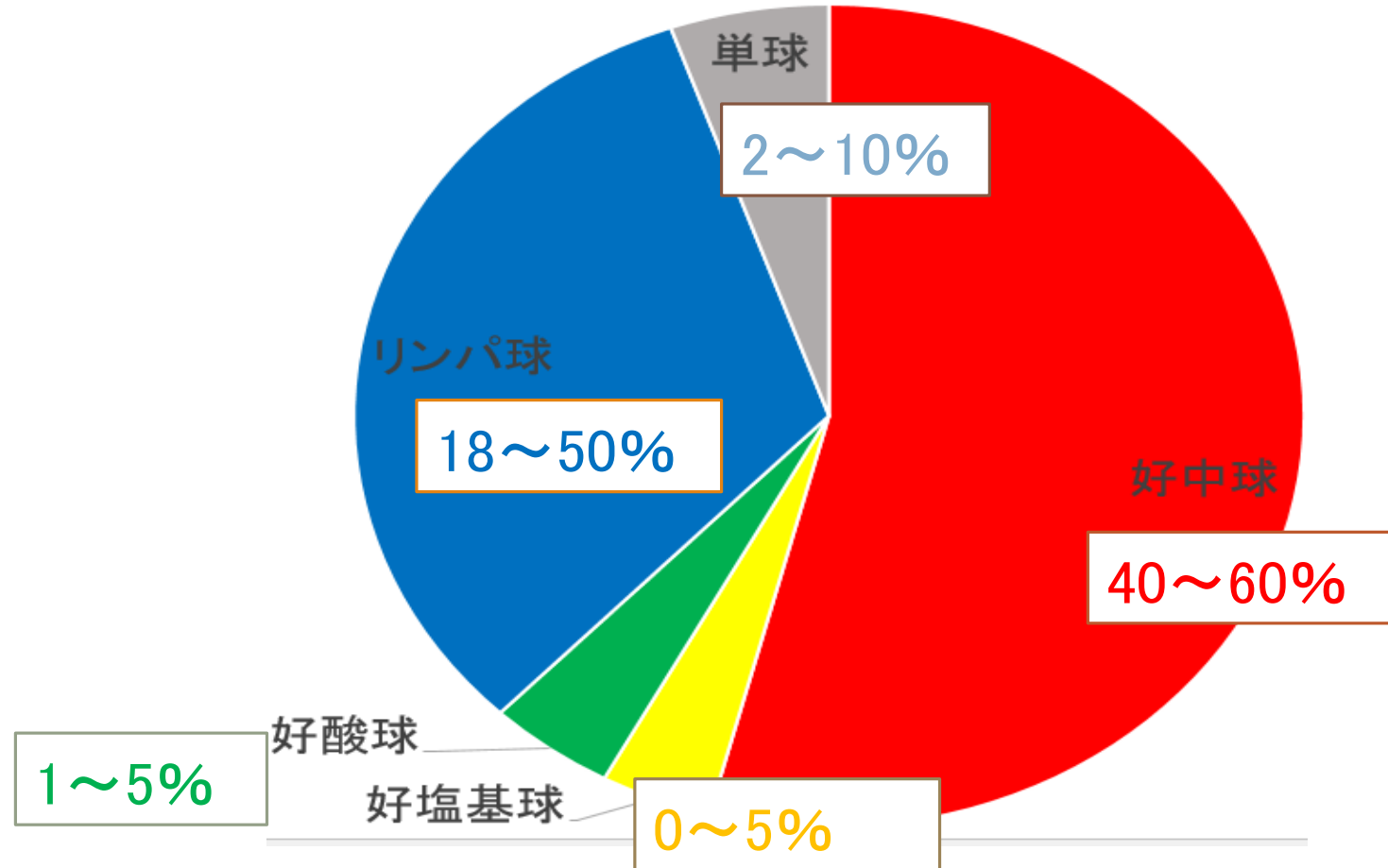
・出血や線維化
(固まること)を止めます

・使われていく数が、
作られていく数を上回るとき

・肝臓でTPOが作られなくなる
とき

白血球分画

- ・白血球は、好中球、好塩基球、好酸球、リンパ球、単球に分かれます
- ・それぞれの割合を%で表したものです
- ・この割合は正常時にはほぼ一定の割合に保たれています
- ・身体に異常が起こるとその割合に変化が現れます。

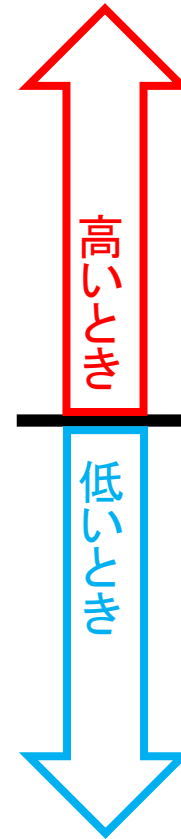


好中球

- ・主に細菌などが体内に入ってきたときに、それを飲み込んで殺して感染を防ぐ役割があります



引用文献:(1)

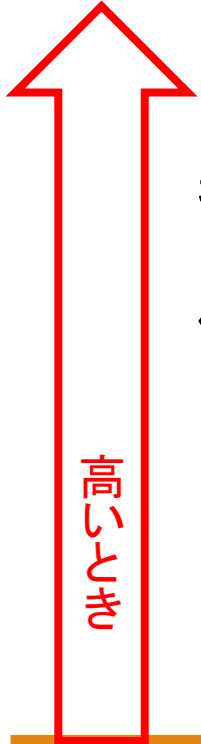


- ・自分の体にとって異物と判断されたものを攻撃しているとき

何がおきてるの？

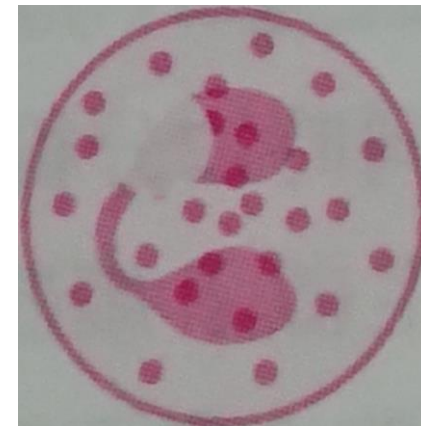
- ・脾臓に血液が多く流れることで、分解されていくとき

好酸球



拒絶反応のときに、増加している事が多く、肝機能も含め拒絶反応の判断に使用されています

- ・細菌などから身体の防御する働きに関わっています



引用文献:(1)

引用・参考文献

(1)検査値ガイドブック第2版

(2)CKD診療ガイド

(3)病気がみえるVol.5

(4)薬剤師国家試験対策マニュアル「虹本：薬理・病態・薬物治療①～②」

(5)日本腎臓病学会編「CKD診療ガイドライン2012」